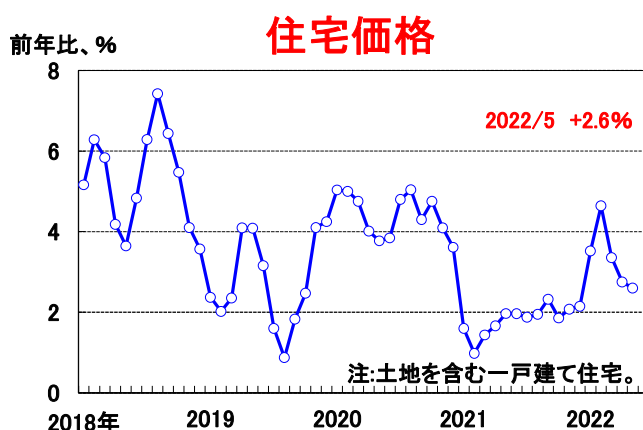
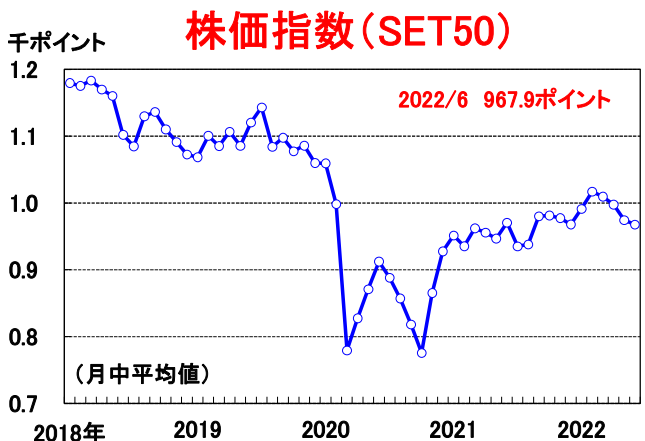
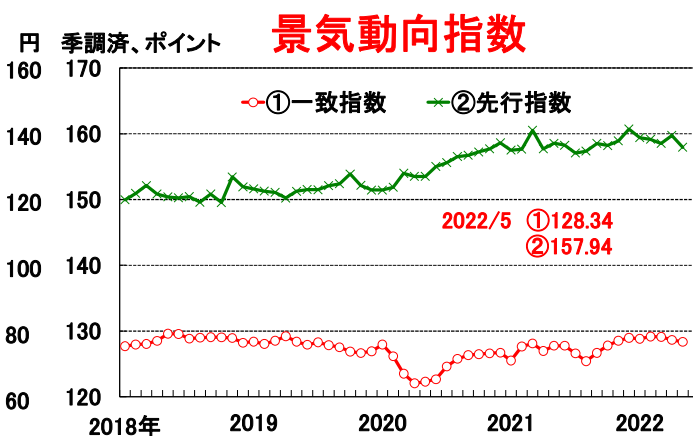
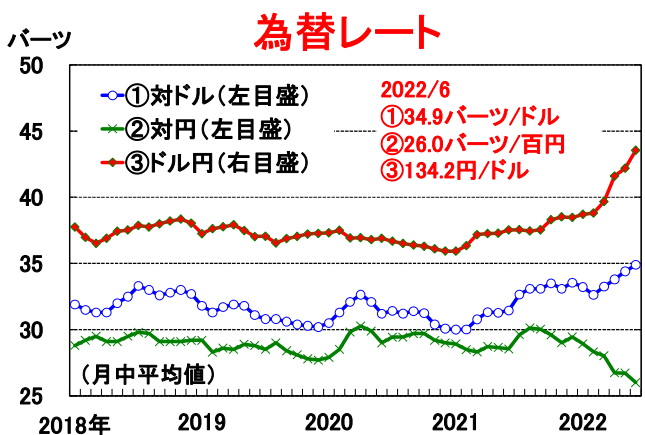
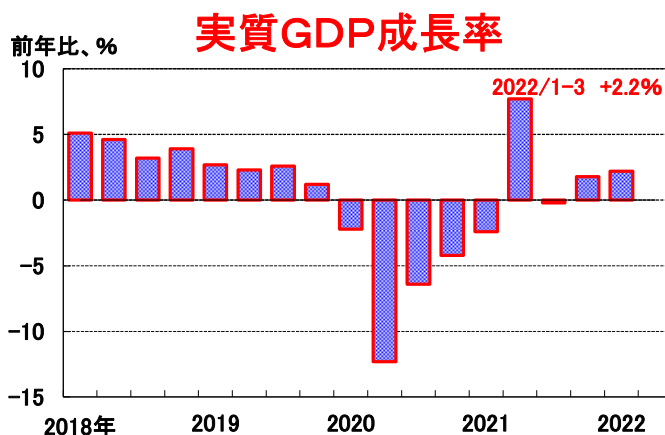
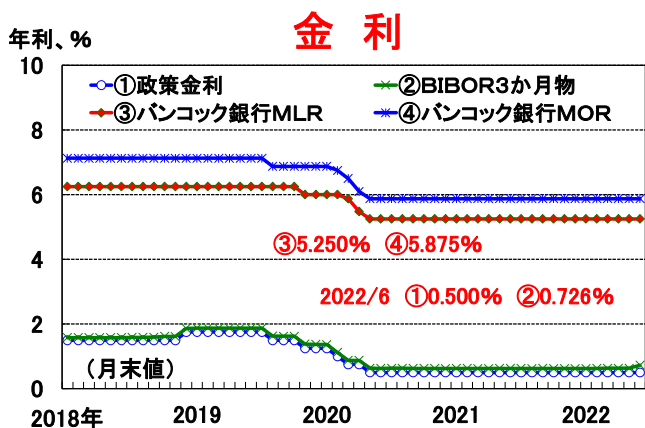
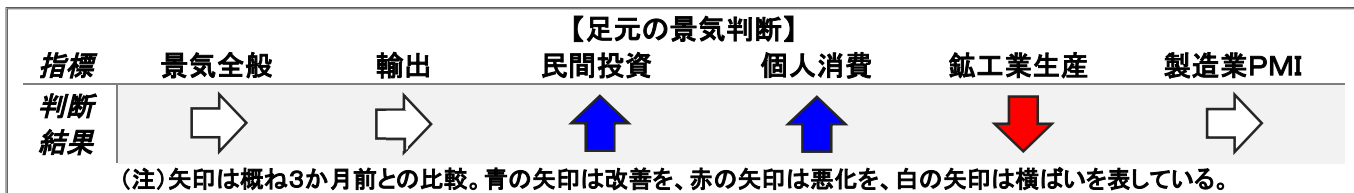


グラフで見るタイ経済 2022年7月号(No. 157)

タイ景気は足踏み感がみられている。5月の工業生産指数は前月比-1.9%と3か月連続で下落した。また、同月の輸出も前年比+10.5%と伸び悩んだ。自動車や電子製品向けの半導体の不足が生産や輸出の回復の足かせになっているとみられる。もっとも、内需は好調に推移している。同月の個人消費指数は142.0と過去最高水準を更新した。内訳をみると、海外観光客向けの入国手続きの簡素化などを背景に非居住者消費が回復し、約2年ぶりの高水準となった。また、同月の民間投資指数も上昇が続き、コロナ禍前を上回る水準で推移している。

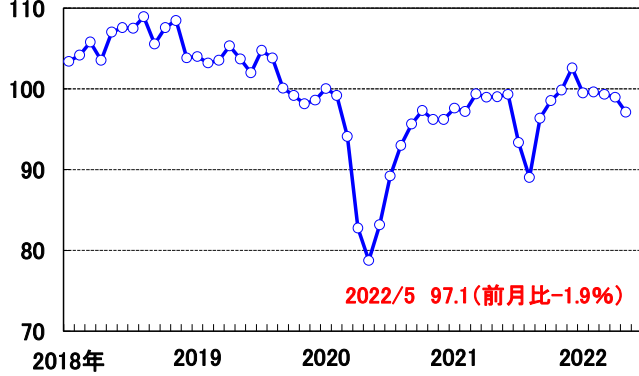


(出所) タイ中央銀行、タイ国家経済社会開発委員会 (NESDB)、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。

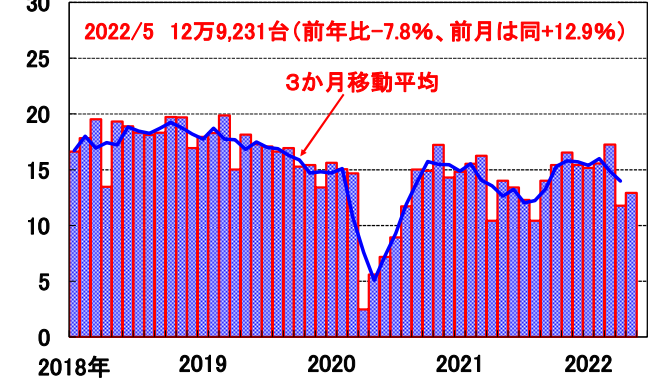
季調済
2016年=100

工業生産指数



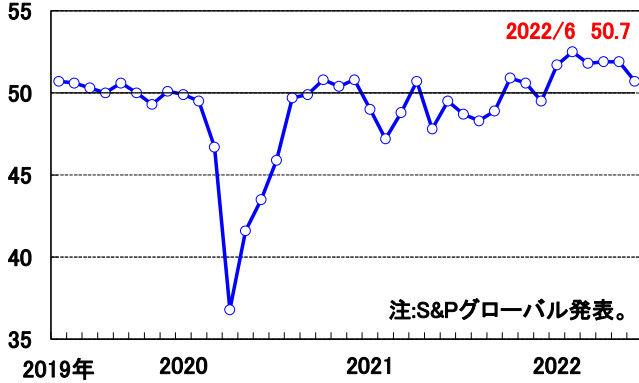
万台

自動車生産台数



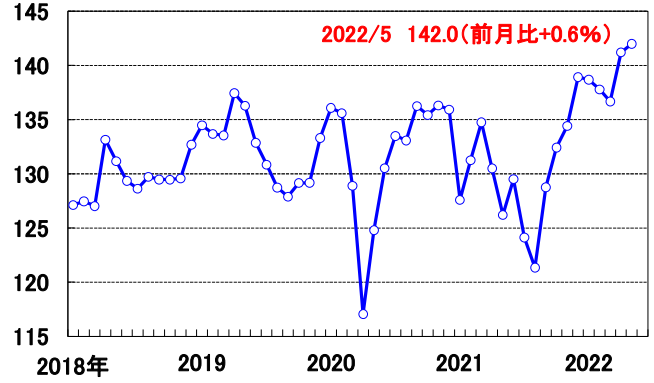
季調済
中立水準=50

製造業PMI



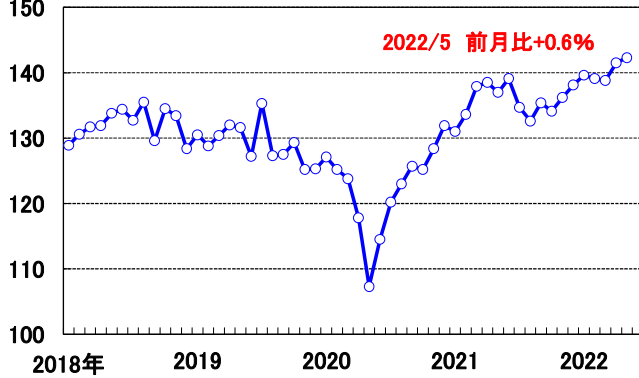
季調済
2010年=100

個人消費指数



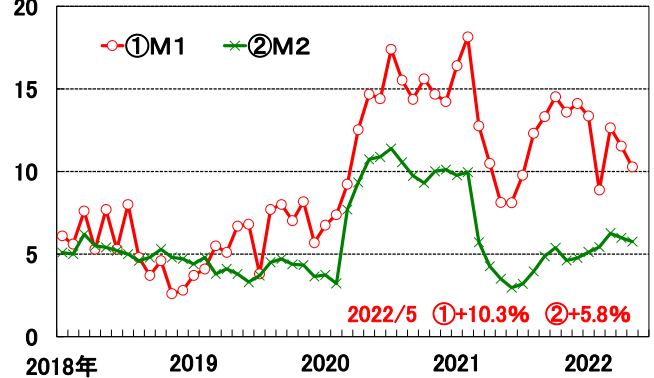
季調済
2010年=100

民間投資指数



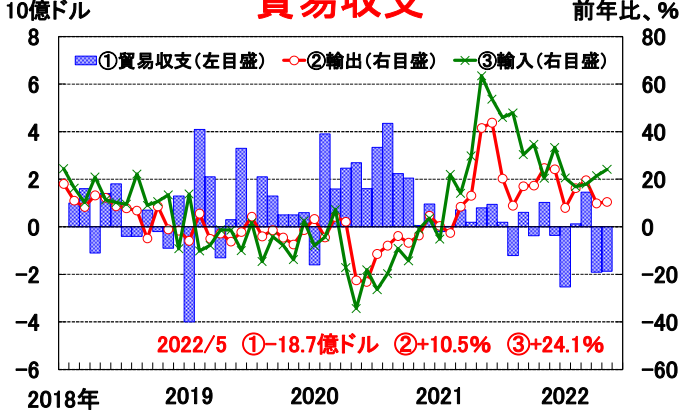
前年比、%

マネーサプライ



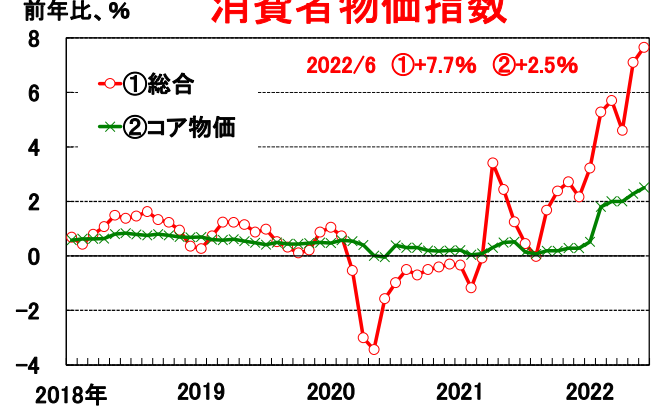
10億ドル

貿易収支



前年比、%

消費者物価指数



(出所) タイ工業省、タイ中央銀行、タイ国家統計局、タイ工業連盟 (FTI)

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用にはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。